

「互恵便り」は、発行から2年を迎えました。お客様と私たちをつなぐニュースレターとして、これからも毎月発行させていただきます。

ごけい たより  
**互恵便り** 第24号

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…  
**NS 中谷石材株式会社**  
〒761-0121  
高松市牟礼町牟礼3766-1  
電話 087-845-5006



さぬき市大川町みろく公園にて  
写真 中谷石材(株)大川工場 奥野 武

## 椿と蠟梅、桃の花の次は、桜の出番ですね



北梅林・南梅林を中心に約150本の梅が植えられている「栗林公園」。白系の梅が65%、赤系は35%の梅なのだそうです。「梅まつり」が終わっても、見ごろは3月上旬まで続くそうです。花姿を楽しみに、どうぞお出かけください。

1、春が近いですね。桜の開花は例年並みの予想だそうです。以前は当たり前だった観光客やお遍路さんの姿を見かけるとホッとします。



## お墓は、 今を生きる私たちが無事に暮らせることを 感謝してお参りする場所です。



お蔭さまで。  
先月はお墓から「永代供養墓」へ、そして今月は、お墓から「納骨堂」へと納骨されたお客さまの事例をご紹介させていただきます。

この先お墓を守る人が見つからない、あるいは遠方に住んでいて管理やお参りがままならないという理由から、残念ながら墓じまいをする方や、検討されている方が増えています。毎年、100万件を超える数のお墓が消えています。

### 「墓じまい」ではなく 「お墓の片付け」と 呼んでいきたいのです

墓じまいとは…。辞書には「現在のお墓を解体・撤去して更地にし、その使用权を墓地の管理者に返還すること」とあります。

しかし、中谷石材は、墓じまいのことを、「お墓の片付け」と呼んでいきたいと思えます。それには理由があります。

お墓は、亡くなられたご先祖の住まうところなのです。そしていまを

生きる私たちが、こうして無事に暮らせることに感謝して、お参りする場所です。

私はこのような大切な場所であるお墓が、様々な事情があるうとも「お終い」になるのではなく、きれいに片付けた後にご先祖は次の住まいに移られた、というふうにご考えたく思っています。

当社では、お墓をお守りする継承者がいなくなったり、合祀したあとの「無縁墓」をお預かりさせていただき、仏石を永代供養するお手伝いも承っております。

中谷石材では「採掘・製造」から「墓守」まで、お墓に関することは何でも安心してお任せいただきたいと願っております。

私は月に一度の墓参りと、毎朝の家の仏壇・神棚へのお参りを続けています。もうずいぶん昔からの習慣なので、何年くらい続けているのかは分かりません。人生にはいろいろな苦難や試練の時もあります。が、その度に「こう思います。今があるのは自分の力だけでは無い、先人の働きがあつてこそ、と。

今あるお墓を「片付けて」も、先達への感謝は忘れずに持ち続けていたいという気持ちから、私個人としては墓「終（しま）い」とは表現しないようにしています。

社長 中谷明生

## 「墓所の片付け」をご依頼いただいたお客様から 経緯とご感想をいただきました

墓石を扱う当社としては、建立のご紹介をさせていただきたいというのが本心です。しかし、お客様に必要と思われる情報の一つとして、この事例紹介をさせていただくこともまた、「墓守」を自称する当社としての大切な役割だと思えます。快く感想をお寄せくださったお客様にも感謝申し上げながら、ご紹介をさせていただきます。

### 諸事情を考慮して決断

平成7年に地元の墓地公園にお墓を建てたのですが、斜面の一部を盛土にして建てた事により、お墓が傾いてくる事がありその都度改修してまいりました。

ここ数年、また傾きがひどくなり改修するか迷っていたところ、昨年菩提寺が屋内納骨堂を新たに建てた話を聞きました。母親が高齢で、墓地公園の急斜面を上がったお墓にお参りする事も出来なくなりましたこと、そして二人の娘が嫁ぎ、この先は墓地公園の草刈りなどを含めて娘たちには負担になることと思いい「墓所の片付け」を決断して、中谷石材さんへお願いしました。

墓地公園は遮る物が何もなく、夏は暑く冬は寒い風が吹きつける墓地でした。傾いたお墓に父の遺骨を置いていることに負い目も感じる様になり、納骨堂の話聞いてこれからの時代に沿った形のひとつだとも思いました。

納骨堂へは骨壺も新調し、暑くも寒くもない屋内に父の遺骨を入れる事が出来たことに安堵しています。

お墓を建てていた所を綺麗に整地復元していただきました。大変有難く感謝しております。ありがとうございました。

K様より





## 中谷石材(株)「わたしの仕事」

# 「施工一筋」 平井 誠

みなさん、こんにちは。中谷石材・施工部の平井誠です。

私は昭和48年(1973年)の生まれで今年で50才になります。生まれたのは愛媛県の宇和島で、そこで少年時代を過ごしました。子供の頃は自転車に乗ってどこまでも出かけて、友達と遊びまわっていましたね。夏になると海に行き、潜ってはサザエなどを獲り、たき火をして、それを焼いて食べたりしていました。今思うと、大らかでいい時代でした。中学ではサッカーに夢中になり、ポジションはゴールキーパーでした。

高校を出ると奈良に行きました。叔父が中華料理屋をやっていて、働かないかと呼んでくれたのです。そこで何年か働いて、最後の頃はチャーハンとか作らせてくれてお店を出していましたね。奈良で覚えているのは…とにかく冬が寒かったです！

### 初めはきつかった「施工」

奈良から戻ってからは愛媛、それから兵庫で働いて、23才のときに中谷石材に入社することになりました。私は入社したときから施工の仕事で、以降も施工ひとすじで今日までやって来ました。

最初施工を始めたときは、正直ヤバイ、続かなかないと思いました。なぜならそれまでの土木の仕事は重機を使っていたのですが、ここは掘るのも手作業だったからです。始めはキツかったですね。正直、とリアれず頑張つてダメなら辞めようと思つていました。

辞めなかったのは、この人が面白かったからなんです。みんな年上だったのですが、仕事をていねいに教えてくれました。

もちろん職人気質で口数の少ない人もいましたが、疑問を訊くときちゃんと教えてくれました。入社して1年経つた頃には、よしこれで生きていこうと思うようになっていました。

### 忘れられない先輩のようでありたいと思いつつ

私には忘れられない先輩が2人います。一人は仕事のことを教わった師匠のような先輩です。もう一人は亡くなられた方なのですが、職場のリーダーとしての先輩です。この方からは、考え方や生き方も学ばせてもらいました。気遣いとまとめる力があり、いつもみんなのことを考えていた方でした。私も及ばずながら、この方のような心遣いができる先輩でありたい、いつも思っています。

施工部は、いまは3人体制で仕事をしています。近年は施工様にお目にかからないことも多いですが、お墓の施工は一期一会と思いつつ一生懸命やらせてもらっています。

施工後に、納骨の支援に行くこともあります。ご遺族のお骨を納めるときに、亡くなられた方に話しかけながら涙を流される方もいらつして、そんなときは気持ち引締めります。社長が言う「墓守」としての仕事の大切さを、あらためて思います。

誰だって失敗したことがあると思います。私もたくさんあります(許される範囲内の失敗ですけど)。ただ、上手になるためには数多く経験するしかありません。数多くとり組めば当然失敗もあるものだと思います。一つ現場を経験する度に何かしら反省もしますが、反省が無くなれば

成長も終わりなのだと思いつつ、毎日の仕事に取り組んでいます。

うちの会社の良いところは、どの部署であつても部署ごとにお客様のことを考えて、真剣に仕事にとり組んでいるところ。どちらかというと、現場の人たちはそれを上手に伝えることは苦手かも知れませんが、上手く言葉にできなくても、一人一人が熱い気持ちで仕事に取り組んでいるのは間違いありません。私には、それが自慢です。

### 熱い気持ちで仕事に取り組んでいる会社です！

今後の仕事の抱負としては、自分が習つたこと、おぼえたことを伝える後輩が入ってきたらいいなと思います。なかなかむずかしいかな(笑)。

あとは、個人的な楽しみも大切にしたいです。妻と2人で香川大学に来る海外の留学生支援のお手伝いをしています。その人たちのリクエストに応え、香川観光に同行したりしています。昨年は韓国とブラジルの方をご案内しました。みんな同じ人間なので、仲良くなると楽しいです。

仕事でもプライベートでも人との出会いを大切にして、今年からの50代をたく充実したものにしてほしいと思っています。

施工部 平井誠





## 「日本人とお墓シリーズ」から学ぶ 「お墓」ってな～に？



アンケートでお客様からのご要望があった、知っているようで知らない「お墓」についてのあれこれ。互惠便りではこれから時々、お墓の研究をされていた故・小島宏充氏の著書を参照させていただきながら、ご紹介をさせていただきたいと思っております。

私たちが中谷石材はご縁をいただいたお客様の「墓守」として、信頼を寄せていただける石材店であり続けたいと願っています。そして、お墓を守ることと同じように、故人への供養の心を守る大切さも次の世代に伝えていきたいとも願っています。

「この小冊誌には、「お墓は、亡き人のあの世でのしあわせを願うと同時に、ご先祖様とともに生きる今のご家族一人一人の気持ちや、ギョツと凝縮されている場所です。」とも書かれています。

中谷社長の社内報「ふれあい報」には、毎月必ずこう書かれています。  
 今月は285号でしたから、なんと、社長は24年間、社員にお参りの尊さを伝え続けています。

「これは、「お墓は幸せのシンボル」(小島宏充・石文化研究所)という小冊誌からの引用です。  
 「月に一度は、ご家族そろって氏神様、お墓にお参りしましょう。」

古来、日本人はお墓に「亡き人のしあわせ」を願い、ご先祖様とともに生きる生活をしてきました。  
 かつての日本人は、「死んだらご先祖になって、子や孫の面倒を見る」といいました。そんな老人がいたのも、ご先祖様とともに「幸せに生きる習慣」が日本にあったからです。  
 今は、ほんの少し、そのことを忘れていくのでしょうか。こんなすばらしい習慣を、お墓参りのとき、家族そろって思い出してほしいのです。お墓が「幸せのシンボル」に見えると、それは自然に身に付きます。

## お客様からの“困りごとのご相談”にお応えしています！



庭木の片付け

Before

After

「きれいにしたいけど、」と気にかかっていたら、お気軽にご相談ください。私たちが解決のお手伝いできます。

私たちがなら、あつという間に運び出して、こんなにきれいに処分ができます。

お墓のお掃除やお手入れも、お盆やお正月の前だけでなくでも大丈夫です。

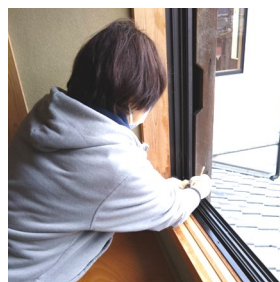
気になつていてもなかなかできずにいる困りごと。お任せを！



お墓の掃除

Before

After



年末に、大掃除を兼ねてきれいにさせていただいた長期留守宅のお掃除です。今月も字彫課のメンバーが参加。前回よりさらに丁寧に、窓のサッシと雨戸を重点的にきれいに掃除しました。こうして毎回手を加えていくので、どんどんピカピカになっていくので気持ちがいいです！

今回は、窓のサッシと雨戸を重点的に掃除





# 「草むしり日記」 No.48

お正月明けのリーダー合宿が終わったばかりだと思っていたら、あっという間に3月を迎えます。春先は「防虫防止対策」からスタートですね。ご希望の方は、今年もお早目のご予約をお願いいたします。



みなさん、こんにちは。  
中谷石材草むしり事業部リーダーの田尾哲也です。

今年で52才になります。幼小中学校と田舎の小さな学校で学び、子どもの頃はどちらかというとインドア派でした。3人兄弟の一番上なので、家と遊んでいることが多かったです。

これを言うつと変わっていると思われるので少々心配なのですが、友だちと野球や外で走り回ったりしたことがあまり無かったです。グローブもバットも持っていないくて、高校の体育の授業で経験したくらいですね。未だにセ・リーグとパ・リーグとの違いもよくわかりません。

## バブルの時代に初就職

高校は高松市内の学校に通いました。良くも悪くも、ここでは書ききれないくらい楽しい思い出がたくさんあります。卒業は1989年ですから、ちょうどバブルの頃でした。でも当時はその実感も無いまま、電気設備会社に入社しました。初めて社会人となり気持ちに全く余裕もなく毎日がいっぱいといった中仕事も本当に忙しく、日々残業の毎日で日が変わることもありません。休日に休む余裕も無かったのを憶えています。まだ若かった事もあり遊びに行きたくて、1年で辞めました。

それから某通販会社に入って物流関係の業務につきました。ここでバブル

を実感しました。何千人も働いていましたからね。先輩・後輩と飲みに行く機会も多くなり、ひどいときは週3という時期もありました。

中谷石材に入社したのは、それから3年が過ぎた頃でした。前の仕事を辞めた次の日の早朝、父親にたたくきこされアルバイトで連れて来られたのがここだったんです。数か月経過した時、当時は専務だった現社長の面接を受けて、正式に入社。半年後には建築石材の勉強に東京の商社に研修に行くことになりました。

この研修は私のその後に影響を与えているかも知れません。東京ですぐに思ったことは、「みんな疲れ切っている」ということだったからです。田舎と違い、会社の人たちは長い通勤時間で午前中すでに疲れていましたから。

研修後は本社に戻り物流部に配属になりました。あの頃は、本当に忙しかった。消費税アップ直前と重なり、みんなパニックになるほどでした。そんな中、石の見分けもつかない私の教育をしてくれた目川さんには感謝しがあります。その後は営業として広島、岡山で仕事をしました。

## 異動後、転機となった研修

社内の組織改革もあり、草むしり事業部に異動したのは2018年です。正直、えっと思いましたが、どんなことをしている、どんなことをするのかも知らず、いつの間にか会社がそういうことを始めている。草むしり事業部って何？自分には関係ないというくらい認識だったんです。しかし、決心してやることにしました。

転機は、草むしりマイスターの研修に行ったことです。3ヶ月草むしり事業部で仕事をした後、初めて草むしりを「業」として確立した群馬県高崎市の宮本さんの所に行きました。研修を終えて宮本さんが認めた人だけが、「草むしりマイスター」に認定してもらえます。この研修に行ったことで、やっていけるという自信がつかまりました。「木の種類を全部憶えるまで帰さないよ」と言われたことが、今では懐かしいですね。

また宮本さんは仕事の時とオフの時ははっきりしている方で、仕事と遊びのメリハリがいいんです。これも勉強になり、私も休みの日は思い切り遊ぶことにしています。

## 丸亀・新拠点を任せられて

昨年4月から、当社は善通寺・丸亀地区に草むしり事業部の新拠点を設け、私はそこを一人で担当することになりました。お客様ゼロからのスタートで心細かったです。チラシを撒いて、最初のお客さまから連絡いただいたときは、ホッとしました。一生懸命作業させていただき、「どうもありがとう。きれいになったよ。」と声をかけてくれたときは本当にうれしかったですね。

今年とはかく今の拠点のお客さまを増やし、人員も確保して体制を整えることです。草むしり事業はやり甲斐がある仕事ですから、若い人が入ってくる職場でありたいというのが願いです。それには、頑張った分きちんと休みもあることが大事です。私自身も、閑散期は繁忙期に頑張った分だけゆっくり休養しようと思っています。

草むしり事業部リーダー 田尾哲也



男女・年齢・経験等問いません。仕事を通して充実した日々を！

★ 仲間を増員募集しています

草むしり.com 高松  
フリーダイヤル

0120-148-144

中讃地区(丸亀市)で  
一緒に働く仲間のご応募  
お待ちしております！



# 今月の社長のコラム

お陰様です。

早くも2月が終わります。お正月明けから関西方面、さらに関東へも出張で出かけていました。先だつての北陸では寒波に遭い寒かったです。途中の比叡山は雪が綺麗でした。

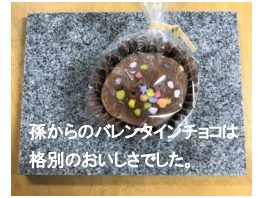
今年に入ってから、健康のことを考えて甘いものを控えるようにしています。私はお酒を飲んだ後の酔い覚ましにアイスを食べるという良くないクセがあったのですが、これを昨年暮れから改めました。自分の歯を長く保つためです。

これは自慢なのですが、私はぜんぶ自分の歯なのです。それが奥歯に少し違和感を感じていました。知覚過敏というらしいですが、今までに無いことだったので気になりました。これはいけないと思ひ甘いものを控えるようにしたところ、おかげで今では感じなくなりました。

甘いものを控えているのはもうひとつ理由があります。新年早々、コロナに罹ったことです。症状は軽く済んだのですが、後遺症で味覚と嗅覚が鈍くなりました。



自宅の庭の紅梅です。この日は良く晴れた気持ちのよい日で、青空を背景にした屋島もきれいに見えました。春が近づいているのを実感しました。



孫からのバレンタインチョコは格別のおいしさでした。

にアイスを止めることができました。

これを言うと大抵は驚かれるのですが、60才を最後に、私は健康診断を受けていません。調べるのを止めたので現在の血糖値も尿酸値も分かりませんが、今のところ倒れることや痛みを感じることも無く、滞りなく毎日を送っています。

知り合いに、血液検査の3日前くらいから食事とアルコールを控える方がいるのですが、病院から戻るとすぐに高カロリーのお金を払って無駄なことをしているような気がして仕方ありません。

幸いなことに私はこの年になるまで、大きな病気をすることがありません。入院したのは、二十くらいか頃にひざを痛めたことが一度あったきりです。丈夫な体をいただき、ありがたいことだと感謝しています。

会社の大変革期を迎えて、まだしばらくは元気で頑張らなければいけません。倒れるわけに行きませんので、日々の健康管理には一層気をつけようと、改めて思っている次第なのです。健康診断のためにフェイクの血液検査に精を出す知人よりは、よっぽど私の方が健全だと思えるのですが。。

社長 中谷明生

## 社内報大川工場

### 「つぎやき。パレット」1月号より



2023年もスタートしました。年が明けると消防マニアは、「出初式の時」が来たなあ。さて、どこの出初式を撮影しようかと頭を悩まします。

出初式の起源ですが、江戸時代の火消しから始まったそうです。

現在の出初式では、行進や一斉放水、訓練披露など様々でマニアとしても普段出てこない車が来たりとワクワクします。全国的に成人の日の前日が多かったりするので、来年会ひ、機会があれば見に行ってみて下さい。

消防マニアとして個人的に撮影に行きだしてから、今年で10年になりました。この間に色々なところに撮影に行き、そこでしか出会えない車両たちを撮影させていただきました。これからもいろいろなところに行きたいなと思います。

大川工場 研磨担当 北山健太



ふふふ。昨年開催された「ふれあい祭り」の会場で見かけた北山さんを隠し撮り？した写真です～。

消防マニアを自称する北山さんおすすめの出初式。来年は是非！



創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を...

# 中谷石材株式会社

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1  
電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



## 草むしり.com 高松

フリーダイヤル 0120-148-144